



インタビュー 俳優
窪塚洋介さん
連載 | コラアゲんはいごうまん
Paix / ハチミツ二郎
漢 a.k.a. GAMI
※ 身元引受可能 & 社宅・寮完備 + 少年院・刑務所内で面接可能

日本リユースシステム株式会社

でできる国内外の自立支援

給食はこの国に、どうやって届くの？

給食はケニア・タンザニア・ルワンダ・フィリピンなどの学校に贈られますが、子どもたちのお腹を満たすだけではありません。子どもたちは給食を食べることを目的に学校に通うようになるため、学びの機会を得て、健やかな成長にも繋がっていきます。一方、届いた食糧等はフィリピンを中心に輸出され有効活用されており、フィリピンに住む現地の方々の雇用を生み出しています。



左上 ケニア・ムワンガノ／右上 フィリピン・カステリアホス
左下 タンザニア・サンジバル／右下 ルワンダ・パンダ村

TABLE FOR TWO

特定非営利活動法人TABLE FOR TWO Internationalを通して
アフリカ・フィリピンを中心に世界中の子どもたちに給食を贈られます。



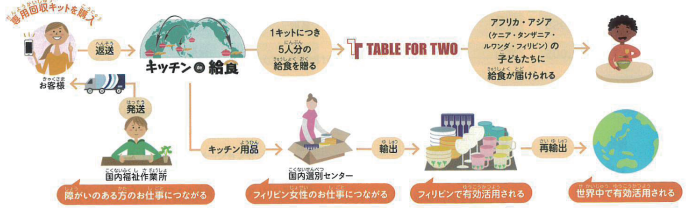
「キッチンde給食」

キッチンde給食とは

食器や調理器具など不要になったキッチン用品を専用回収キット段ボールに入れて送ると、1キットにつき5人に給食が贈られるという自立支援型・寄付つきお付け商品です。



仕組みと流れ



こんな支援にもつながります

1 千葉の「キッチンde給食選別センター」で働くフィリピン人スタッフの自立をサポート！

お送りいただいたキッチン用品は、千葉県木更津市にある「キッチンde給食センター」に集められ、輸出のための選別が行われます。ここで働くスタッフは、日本に住むフィリピン女性がほとんど。言葉の壁により仕事が見つけない方々の雇用を生み出しており、中にはシングルマザーもいます。彼女たちの手により、キッチン用品は一つひとつ丁寧に扱われ選別されています。



和食器など日本のキッチン用品は海外で人気があるため需要も高まっています

2 専用回収キットは国内の福祉作業所で梱包・発送障がいのある方の自立をサポート！

「キッチンde給食」の専用回収キットは、国内の福祉作業所で梱包・発送が行われています。その1つである神奈川県秦野市にある就労継続支援B型事業所「みるおんりーふ」では、キットが届き、皆様笑顔になる様子を想像しながら、白々イキキと自主的に作業に取り組んでいるそうです。



専用回収キットのダンボール箱に描かれている作品は、障がい者アーティスト、吉野公貴さんによる「幸せの輪」という作品です。キッチンde給食の販売数に応じて著作権料をお支払いしています。



専用回収キットづくりにやりがいを感じる作業員さんも多いそう